

特集 地域医療再生計画を検証する

地域の医療崩壊を食い止める、この国民的課題を解決する手法として、地域医療再生基金構想が掲げられた。政権交代後その規模は縮小されたものの、現在全国で年間2000億を越す基金が地域医療再生のために使われている。果たして採用された計画は実際の医療崩壊に有効な処方箋となっているのであろうか？ 国は再生計画の評価や指導を担う有識者会議を構成したが、今回そのメンバーを中心に期待される効果、現在までの進捗状況を検証する。また実際に再生計画に参画した立場から、計画に懸ける地域の実情を現場から報告いただく。

巻頭言

地域医療再生計画を検証する
地域医療再生計画を評価する
地域医療再生計画を地域住民のために
地域医療再生計画は有効か—民間医療機関の立場から

山田 隆司
梶井 英治
水田 祥代
藤本 晴枝
加納 繁照

【事例】

高知県 医療再生機構の取り組み
福島県 大学と連携して再生を
島根県 医師確保対策と地域医療支援
岩手県 深刻な医師不足解消に向けて
【グラフ】被災地の医療ケア

家保 英隆
鈴木 啓二
木村 清志
遠藤 秀彦

本郷だより

今回の福島原発の事故により、あらためて太陽光発電などの代替エネルギーに注目が集まっています。今のところ太陽光発電は太陽電池のエネルギー変換効率がまだまだ低いことや気候等によって安定した供給が難しいことなど、クリアすべき課題はありますが、新素材による変換効率の向上も研究されていますし、今後に期待したいところです。

太陽光発電の発展型と言えば、衛星軌道上で発電し、電力をマイクロ波で地上に送る「宇宙太陽光発電」というものもあります。ほとんどSFのような話ですが、日本でも2040年の実用化を目指して、発電・送電システムの開発が進められています。実際、神戸大学のチームが3年前にハワイで150km離れた場

所へのマイクロ波送電に成功しており、いずれ夢物語ではなくなるかもしれません。

地球全体に降り注ぐ太陽エネルギーは、たった1秒分だけで、産業革命以降、人類が使用してきたエネルギーの総量を上回るとも言われています。有効活用しない手はありません。ちなみに、SFの世界には人工構造物で恒星をまるごと覆う「ダイソンスフィア」なる究極のエネルギー活用がありますが…“人間が想像することは必ず実現する”とは言え、さすがにこれは無理…ですね？

(落)
(能藤・落合・松永)

告知板

第13回日本医療マネジメント学会学術総会

地域で守る患者中心の医療

6月24日(金)～25日(土) みやこめっせ(京都府京都市)

●プログラム：特別講演「多数精鋭のスタッフによるチーム医療の実践」近森正幸(近森会近森病院)、シンポジウム「地域連携クリティカルパスの現状と今後の課題」、他

○連絡先：運営事務局

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田3-3-10 梅田ダイビル4F (株)JTBコミュニケーションズ コンベンション事業局

TEL：06-6348-1391 FAX：06-6456-4105

13jhm@jtbcom.co.jp

http://13jhm.jtbcom.co.jp/

病院事務部長研修

トップマネジメント業務の一翼を確かに担うために

7月8日(金)～9日(土) (株)ホギメディカル(東京都港区)

●プログラム：「病院経営における経営分析指標の利用の仕方」石尾肇(石尾公認会計士事務所)、「実務経験からみたクレーム対応について」桑原博道(仁邦法律事務所)、他

●定員：96名

●参加費：29,000円(会員21,000円)

○連絡先：(社)病院管理研究協会(担当：安保)

TEL&FAX：03-3352-2575

byokan@crest.ocn.ne.jp

http://www5.ocn.ne.jp/~byokan21/

千里ライフサイエンスセミナー

新しい先端医薬品としての核酸医薬品の戦略
7月8日(金) 千里ライフサイエンスセンタービル(大阪府豊中市)

●プログラム：「新合成手法に基づく新規核酸医薬の開発」関根光雄(東京工業大学)、「RNAi医薬によるがんの新しい診断と治療」落谷孝広(国立がん研究センター研究所)、他

○連絡先：(財)千里ライフサイエンス振興財団セミナーC1係

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2

千里ライフサイエンスセンタービル20階

TEL：06-6873-2001

sng@senri-life.or.jp

http://www.senri-life.or.jp

病院 (第70巻第6号)

2011年6月1日発行(毎月1回発行)

定価2,940円(本体2,800円+税5%)

2011年年間購読料(税込定価、送料弊社負担)
冊子のみ34,200円 冊子+電子版44,500円
電子版/個人34,200円 電子版/共有39,330円

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

本誌編集室直通 ☎(03)3817-5719 FAX(03)3815-7802

販売部直通 ☎(03)3817-5659・5660 FAX(03)3815-7804

e-mail: byoin@igaku-shoin.co.jp 振替口座00170-9-96693番

印刷所 横山印刷(株) ☎(03)3622-6161

広告申込所(株)ハイブリッジエージェンシー ☎(03)3814-0089/デザイン：デザイン・プレイス

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo
©2011, Printed in Japan.

・本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化権を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。

【JCOPY】〈(社)出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

・医学書院ホームページ http://www.igaku-shoin.co.jp

・「病院」URL http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/byoin

(五十音順)

■編集顧問 岩崎 榮・大道 久・河北博文・紀伊國献三・竹内 實・広井良典

■編集委員 井伊雅子 (一橋大学国際・公共政策大学院教授)・池上直己 (慶應義塾大学教授)・伊関友伸 (城西大学教授)
猪口雄二 (寿康会理事長)・神野正博 (恵寿総合病院理事長)・山田隆司 (台東区立台東病院管理者・院長)

■編集協力 笥 淳夫 (工学院大学教授)・中山茂樹 (千葉大学教授)